

令和8年 第1回白馬村議会定例会 総務社会委員会審査報告

本定例会において、総務社会委員会に付託された案件は議案23件です。審査の概要と結果を報告します。

議案第4号 白馬村白馬町交流センターの指定管理者の指定について

白馬村白馬町交流センターの指定管理者については、指定期間の終了に伴い再指定をするためのもの。

慎重審議の結果、討論はなく採決したところ、議案第4号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第8号 白馬村環境基本条例の制定について

豊かな自然環境を将来へ継承するため、環境保全の基本理念及び村・事業者・村民の責務を明らかにするとともに、施策を総合的かつ計画的に推進し、ゼロカーボンシティの実現と持続可能な発展に寄与するため、条例を制定するもの。

[質疑・意見]

意見 環境基本条例は前議会で否決された経緯があるが、見直しのうえ再提出されたものであり、現在は理念となる基本条例がない状況であることから、早期に制定されるべきである。

【討論】

反対 気候非常事態宣言やゼロカーボンビジョンを前提とした内容であるが、気候状況の認識やCO2排出の考え方については様々な見方があることから、別の視点も含め内容を再度精査すべきと考え反対する。

賛成 本条例は村の環境や景観に関する理念を示すものであり、すでにある景観条例等の基礎となる理念条例は必要であると考え賛成する。

議案第8号は、委員長を除く委員多数の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第10号 白馬村こどもの笑顔応援条例の制定について

すべてのこどもが健やかに成長し、子育てをするすべての人が安心と誇りをもって暮らすことができる地域社会の実現を図るため、こども・子育て支援に関する基本理念及び各主体の責務等を定めた本条例を制定するもの。

[質疑・意見]

問 この条例名にした理由は

答 当初はよくある典型的な名称だった。全国で特に子育て支援に力を入れている自治体では、それなりの名前を付けているため、白馬村としても子育て支援に力を入れている自治体としてこの名称にさせていただいた。

討論はなく採決したところ、議案第10号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第11号 白馬村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

児童福祉法の一部改正により創設された乳児等通園支援事業について、条例を定めるもの。

[質疑・意見]

問 待機児童が解消されなければ、「こども誰でも通園制度」の受入れはできないのか。

答 受入れができないわけではないが、村としてはまず保育園・認定こども園を希望する児童の受入れを優先し、施設に余裕がある場合に制度を開始する考えである。公立のしろうま保育園はその方針であり、民間施設も基準を満たせば対象となり得るが、現状ではすぐに制度を開始するのは難しいと考えている。

問 今のところこの制度に該当する児童の把握はできていない状況か。

答 そのとおり。全国どこからでも使える制度で、利用者数も読めないので、受け入れは現時点では難しいと考える。

討論はなく採決したところ、議案第11号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第12号 白馬村特定乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

子ども・子育て支援法において準用する規定に基づき、実施される特定乳児等通園支援事業について、給付事業としての適正な実施及び利用者保護を確保するため、設備及び運営に関する基準を条例で定めるもの。

質疑・討論はなく採決したところ、議案第12号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第13号 白馬村認定こども園しろうま保育園担任手当に関する条例の制定について

しろうま保育園に勤務するフルタイム会計年度任用職員のうち、クラス担任業務に従事する職員に対し、その職責の重さに鑑み担任手当を支給することにより、職員の職務意欲の向上及び保育の質の確保を図ることを目的として事項を定めた本条例を制定するもの。

質疑・討論はなく採決したところ、議案第13号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第14号 白馬村議会議員及び白馬村長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例について

公職選挙法施行令の改正に伴い本条例を改正するもの。

質疑・討論はなく採決したところ、議案第14号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第15号 白馬村課設置条例の一部を改正する条例について

課の分掌事務の記載事項を改めたいことから、条例改正するもの。

[質疑・意見]

問 「生物多様性」という言葉自体の解釈が難しい。生物多様性は「ダイバーシティ」という言葉でも表せるが、周知する際は村民にわかるような言葉を使って広報をしていただきたい。

答 「生物多様性」という言葉は、「生物多様性基本法」という法律があり、そこから拾っている。生物多様性基本法は自然保護に関することや温泉法も傘下になっているが、具体的に総務課としてやっている生物多様性は法律的に全てではない。実際に事業をしていく中で特に広報啓発、周知には具体的言葉でわかりやすくしたい。

討論はなく採決したところ、議案第15号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第16号 白馬村特別職の職員で非常勤のものの報酬に関する条例の一部を改正する条例について

学校医及び保育園医の報酬を改定したいことから、本条例を改正するもの。

[質疑・意見]

問 健康診断というのは、全ての項目について年に1回なのか。

答 そのとおり。生徒1人につき全て年1回である。

討論はなく採決したところ、議案第16号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第17号 フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

「一般職の職員の給与に関する条例」の規定に準拠したフルタイム会計年度任用職員の給料表の改正によるもの。

質疑・討論はなく採決したところ、議案第17号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第18号 パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

パートタイム会計年度任用職員へ勤勉手当の支給、パートタイム会計年度任用職員のうち定額で支給する職種の報酬額を改正するもの。

慎重審議の結果、討論はなく採決したところ、議案第18号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第19号 職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について

「国家公務員等の旅費支給規程」に伴い本条例を改正するもの。

質疑・討論はなく採決したところ、議案第19号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第20号 白馬村税条例の一部を改正する条例について

白馬村税条例の一部を改正するもの。

質疑・討論はなく採決したところ、議案第20号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第21号 白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
国の制度改正により、国民健康保険税に子ども・子育て支援納付金制度が位置付けられたことに伴い条例の一部を改正するもの。

[質疑・意見]

問 国保税が高いという声もあるため、算出の仕組みを分かりやすく周知すべきではないか。

答 算出の仕組みは分かりにくいいため、今後ホームページ等で例を示しながら分かりやすく周知していきたい。

討論はなく採決したところ、議案第21号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第22号 白馬村地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化を図るための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について
固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正をするもの。

[質疑・意見]

問 北アルプス地域計画が令和11年までとなっているため、条例を一部改正するということではあるが、今回こういった要件が適用になるような事業を見越して行うというわけではないのか。

答 北アルプス地域計画の中に固定資産税の減免や不動産取得税の減免制度を設けて、求められている要件に合致するような事業者を支援するといった計画があるため、村としても計画期間にそういった支援ができるような環境を整えておきたいというのが一番の理由である。

討論はなく採決したところ、議案第22号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第23号 白馬村使用料条例の一部を改正する条例について
白馬クロスカントリー競技場の使用料等の改正を行うもの。

[質疑・意見]

問 身分証明書のマイナンバーカードは、スマートフォンにインストールしたものでも提示可能か。

答 住所確認ができれば大丈夫である。

問 「軽スポーツ」が料金の対象として追加されたが、例えば、近所の住民が遊びに行っても料金はかかるのか。

答 料金はかかる。ただし、未就学児や高齢者は減免となるので、多くの住民は無料で利用が可能となると思われる。

問 冬はスノーシューで雪上をウォーキングする人もいるが、それにも料金がかかるのか。

答 村民以外は300円、村民は50円の料金がかかる。

討論はなく採決したところ、議案第23号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第24号 白馬村学校給食費徴収条例の一部を改正する条例について
食材費の高騰や国の政策、子育て世帯への村の支援策を踏まえ、学校給食の給食費を改訂するもの。

[質疑・意見]

問 給食日額に地産地消分として小学校10円、中学校20円の加算をしているということであるが、地元食材を給食でどのように使うのかは誰が決めているのか。

答 地元食材の使用は、栄養教諭が毎月の献立の中で決めている。教育課と給食センターでは、できるだけ地元食材を使っていくという方針である。ただし、白馬村ではどうしても季節が限られてしまうので、なかなか通年では使えないのが実情であり、年間で予算をプールして、使える時期に費用として充てている。

討論はなく採決したところ、議案第24号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第25号 白馬村ジャンプ競技場条例の一部を改正する条例について
白馬ジャンプ競技場のリフト料金について、本村内での居住が確認できる場合の使用料減額を設定するもの。

[質疑・意見]

問 一般村民は270円の減額で片道100円、往復200円で利用できるということによいか。

答 そのとおり。

討論はなく採決したところ、議案第25号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第26号 白馬村ウイング21条例の一部を改正する条例について
白馬村ウイング21の使用料金の改正を行うもの。

[質疑・意見]

問 ウイング21条例の名称と、「協和ウイング」のネーミングライツとの兼ね合いはどうなるのか。

答 「協和ウイング」はあくまで愛称である。

討論はなく採決したところ、議案第26号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第27号 白馬村保育料条例の一部を改正する条例について
延長保育の利用時間について、実情を踏まえ見直しを行うもの。

質疑・討論はなく採決したところ、議案第27号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第28号 令和7年度白馬村一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出それぞれ2億8078万3千円を減額し歳入歳出予算の総額を77億5528万2千円とするもの

【健康福祉課関係】

老人福祉費の287万9千円減額は、措置対象者の実績減に伴い措置費を減額。
障害者福祉費2000万円の減額は自立支援給付費と児童福祉給付費の実績減によるもの

[質疑・意見]なし

【総務課関係】

一般管理事業227万3千円の減額は、2人目の副村長を1月から3月で雇用しなかったため、人件費を減額。ふるさと納税事業4500万円の減額は、寄付見込みは約5.5億円だが、当初計上に未達見込みのため関連費を減額するもの。空き家DIY事業等委託料200万円減額は、担当職員退職により仕組み構築前で実施不可になったもの。地球温暖化対策事業1768万5千円の減額は環境競争プラットフォーム可能性調査補助金不採択で、委託料を減額するものと、公共施設再エネ設備等リース料で、ふれあいセンター・中学校の工事完了に伴う不用額を減額するものです。防災事業536万1千円減額は、県防災無線更新工事費が見込みより低下したことによるものです。

[質疑・意見]

問 空き家改修DIY事業の200万円について、対象となる建物は決まっていたのか。

答 今年度は制度づくりと空き家の公募を予定していたが、事業を担当していた地域おこし協力隊職員が退職したため事業の組み立てができず、具体的な対象物件の選定には至らず実施できなかった。

【税務課関係】

賦課徴収事業276万6千円の減額は、GIS固定資産税地図情報システムによる国土調査事業の成果が令和7年中に法務局登記へ反映されず、地図情報の更新ができないことによる委託料の減額です。

[質疑・意見]

問 圃場整備の工区が法務局に反映されていないため減額となったが、来年度に更新する際は今回の減額分を計上するのか。

答 国土調査の成果量が多く、法務局で登記簿への反映が令和7年度中に完了しなかったため地図更新ができなかったものである。地図更新は毎年実施しており経費も単年度予算であるため、今回の減額分を繰り越して計上するものではない。

【住民課関係】

戸籍住民基本台帳事業613万8千円の減額は、戸籍システム改修の実施時期を、令和8年度に変更したため今年度分を減額するもの。福祉医療費給付事業450万円の増額は、受給者の医療費増加に伴い、子ども医療給付費300万円と障害者医療給付費150万円をそれぞれ増額するもの。環境衛生事業74万7千円増額の主なものは、消耗品や廃棄物処理委託料で落倉地区で12月に発生した原因不明の油の自噴対応による増額によるものです。

[質疑・意見]

問 雑排水汲み取り委託料の増額について、利用は事業者によるものなのか。また委託先はどこか。

答 委託料は1リットル当たりの実績に基づき支払う仕組みであり、今回実績増により増額となった。利用者は事業者と一般家庭の双方であり、収集運搬は山田商会、処理は松川町の南信サービスが行っている。

問 落倉で発生した油の自噴は、原因や成分は判明しているのか。

答 消防署と連携して周辺施設を確認したが異常は見つからず、原因は特定できていない。過去に流出した油が地下に滞留し再流出した可能性もあり、成分分析は行っていないが灯油とみられる。

【教育課関係】

学校環境整備事業122万7千円の減額は、タブレットの一台当たり購入単価が想定より低下したことによるもの。

北小学校管理事業320万円減額は、漏水対策工事完了による減免等の精算により余剰分を減額するものです。

[質疑・意見]なし

【子育て支援課関係】

児童手当等給付事業30万7千円増額は、基幹系システム標準化に伴う保育料納付書の仕様変更で用紙代を増額。子育て支援事業486万2千円の増額の主なものは、過年度国庫補助金返還金で子ども・子育て支援交付金算定で子ども家庭センターの補助対象人件費を重複計上。正しい職員数に修正した結果の過交付分を国へ返還するものです。

[質疑・意見]

問 児童福祉総務費の消耗品30万7千円は用紙代ということだが、どのような用紙なのか。

答 令和8年度から税金や料金の徴収システムが全国統一の「標準化」に移行するため、その規格に対応した用紙が必要となる。当初は版代がかかるため費用がやや高く、1枚数十円程度から、物価高騰の影響により100円台となる可能性もある。

【生涯学習スポーツ課関係】

図書館事業15万8千円増額は、図書館職員の勤務形態変更による減額のほか、図書館建設用地取得に伴う立木補償費45万9千円を増額するもの。伝統的建造物群保存事業113万4千円の減額は、青鬼神社修理工事の内容見直しにより事業費及び関連補助金等を減額するものです。ウイング21維持管理事業546万6千円減額は、LED化による光熱水費の削減や入札差金等により管理費等を減額するほか、トレーニングルーム利用者増に伴い使用料を増額するものです。

[質疑・意見]なし

[全体討論]

反対 図書館事業に、図書館用地の立木補償料が計上されており、図書館建設の用地取得に反対する立場から、本議案に反対する。

各科の審査が終了し、議案第28号は委員長を除く委員多数の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第29号 令和7年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ288万5千円を増額し、予算総額を11億4835万6千円とするもの。
子ども・子育て支援金制度施行に向けたシステム改修を計上するもの。

質疑・討論はなく採決したところ、議案第29号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべき
ものと決定いたしました。

議案第30号 令和7年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
歳入歳出それぞれ2234万6千円を増額し、予算総額を1億6671万6千円とするもの
保険料試算に伴う区分間の増減。子ども・子育て支援金制度対応のシステム改修や広域連合負担
金の増額によるものです。

質疑・討論はなく採決したところ、議案第30号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべき
ものと決定いたしました。

以上 総務社会委員会の審査等についての委員長報告といたします。